

～オペラ『アマールと夜の訪問者』あらずじ～

ある冬の夜。脚の不自由な少年アマールは、家の外で星を眺めながら羊飼いの笛を吹いていた。「母さん！うちの窓を覆うくらい大きな星が出ているよ！」と言い出した彼の話を、家の中にいる母はホラ話だと思い全く取り合わない。

その夜遅く、ドアをノックする音に母は「出て行って誰だか見ておいで」とアマールに頼む。そこに居たのはなんと立派な身なりの3人の王様。「星の導きにより、選ばれし子どもに貢ぎ物を捧げるため長い旅を続けている。ここでしばらく休ませてもらえないか」と言う王様たち。

母は村人たちの手を借り王様たちをもてなす。さらに夜は更けていき、村人たちは帰り皆寝床に入る。そんな中「アマールが乞食にならずに済んだら……」と母は貢物を盗もうとするが王の従者に見つかってしまう。「お母さんをぶたないで！」と母をかばうアマール。「母よ、これはあなたがとっておきなさい。私たちが訪ねていく選ばれし子は、神の国を作るために黄金など使う必要は無いのです」とメルヒオール王は言う。母はその子に何ひとつ贈り物を捧げる事ができないと嘆くが、「僕が使っているこの松葉杖をあげようよ！」とアマールが杖を差し出すと、アマールの脚は癒えたのだった。これこそが奇跡。

アマールはその救い主に会うために、3人の王様とともに旅へと出かけていく。

オペラ『アマールと夜の訪問者』



アマール  
長太優子



アマールの母  
井岡潤子



カスバル  
孫 勇太



メルヒオール  
落合庸平



バルタザール  
大西 凌



ページ  
近藤勇斗

オペレッタ&ミュージカル ガラ・コンサート



清野千草



中野陽登美



野口麻衣



藤田果苗



松浦綾子



松下めぐみ



三輪千賀



小川典子



田中玲奈



岡成秀樹

ナビゲーター



谷 浩一郎

演出



清原邦仁

ピアノ



関口康祐

兵庫県立芸術文化センター  
神戸女学院小ホール

大阪・梅田からも神戸・三宮からも  
ホールまで15分

(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ  
(連絡デッキで直結)  
◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)  
※ご来場には、電車・バスなどの公共交通機関をご利用  
ください。

